

呼吸器外科

1. 診療科の概要

肺、縦隔及び胸壁疾患の外科診療を積極的に行っている。2014年5月、新たに「日本専門医機構」が発足し、基本領域での「外科専門医」、専門領域での「呼吸器外科」、「心臓血管外科」の専門医認定がなされる。当科ではそれらに対応した外科臨床研修プログラムを作成し、本学附属病院及び関連施設での教育、研修を通じて、有能な呼吸器外科医を育成する方針である。

また、当科は低侵襲手術の適応範囲が広い。原発性肺癌では約90%、良性肺疾患、転移性肺癌ではほぼ100%となっている。早期肺癌に対する縮小手術も積極的に施行しており、この領域に関する集中的かつ高度な教育を行うことが可能である。また、当科では2018年4月からダヴィンチXi サージカルシステム、2024年8月からはダヴィンチSP サージカルシステムによる肺癌手術および縦隔腫瘍手術も施行しており、東京以北で有数の症例数を有している。心大血管領域の手技も呼吸器外科領域に必須であり、同領域の研修も関連施設 (high volume center) で行う。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：宮島 正博

指導医：高橋 有毅、多田 周

3. 研修担当者

氏名：高橋 有毅

連絡先：y_takahashi@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：8時00分

集合場所：臨床教育研究棟10階 呼吸器外科学講座教室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<ショック、体重減少・るい痩、発疹、黄疸、発熱、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、外傷>
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
<肺癌、肺炎、急性上気道炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、高エネルギー外傷・骨折>

6. 研修内容

肺癌・肺良性疾患・縦隔・胸郭についての手術術式について学ぶ。

回診の方法、各種検査処置及び手術時の手洗い方法などについて研修する。

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 回診は毎日朝・夕に行う。
- ・ 週1回術前術後カンファレンス、呼吸器・アレルギー内科、放射線科と合同カンファレンスを行う。

(2) 研究会

- ・ 週1回一流医学雑誌を用いた抄読会・セミナーを行う。月に2回ほどwetラボで手術手技を学ぶ。

7. 研修医の主な業務

- ・ 助手、執刀医としての手術参加
- ・ 術後管理、カルテ記入、サマリの作成
- ・ 手術患者の術前評価、カンファレンスの準備
- ・ 地方会などの学会発表も積極的に指導している

8. 研修スケジュール

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19				
月	回診	病棟															
		手術															
火	回診	病棟・外来															
	術前術後 カンファレンス	検査・処置				肺癌キャンペー ポート				回診	病棟						
水	回診	病棟															
		手術															
木	回診	病棟・外来															
	抄読会																
金	回診	病棟															
		手術															

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

- ・ 外科専門医

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
 - 市立札幌病院、JR 札幌病院、北海道がんセンター、砂川市立病院、函館五稜郭病院、市立函館病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
 - 北海道立北見病院